

「新しい協同労働の協同組合の組織化 研究会④」

# 自治体が進める協同労働を活かした 地域づくり

## 【趣旨】

今年度、3回にわたり「新しい協同労働の協同組合の組織化」研究会を開催してきました。それは「協同労働の協同組合」法制化が通常国会で本格的に検討がされる段階で、どのような主体がワーカーズコープを立ち上げるのかを検討する必要があると考えたからです。

そこでは、労働者が経営困難な企業をワーカーズコープ化する「Workers Buy-out（ワーカーズバイアウト）」の取り組み、失業した若者を中心に自らワーカーズコープをつくった「はんしんワーカーズコープ」の4年間の取り組みを法制化運動の進捗状況とともに研究会で深めてきました。

今回の研究会では、「協同労働の協同組合」法制化早期実現に関わる意見書を、現在916の地方自治体の議会で採択されています。その情勢下「自治体が進める協同労働を活かした地域づくり」をテーマにして、行政施策の視点から、協同労働が地域社会でどのような役割を果たすのかを考えます。研究会では2018年10月5日、6日に開催する「全国・名人達人サミット in 西桂」の実行委員長である山梨県西桂町長の小林千尋氏と、5年目を迎えた広島市協同労働プラットフォーム事業の統括コーディネーターの山口豪氏にご報告いただきます。

## 【開催概要】

**日時** 2018年5月19日(土) 13:30～16:30

**場所** 日本労協連 8階A会議室(※協同総研事務所の上の階です)

(東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋ISPタマビル7F)

## 報告者

◇小林 千尋 氏 (山梨県西桂町 町長)

「第3回全国名人・達人サミット開催にあたりワーカーズコープに期待すること」(仮)

◇山口 豪 氏 (NPO法人ワーカーズコープ 広島市「協同労働」プラットフォーム事業 統括コーディネーター)

「広島市協同労働プラットフォーム事業の到達点と今後の展望」(仮)

資料代:1,000円(会員、学生、障がい者は500円)

## 【会場地図】

協同総合研究所  
(ISPタマビル7F)

電話：03-6907-8033



## 【参加申込】

5月11日(金)までにメール等で  
当研究所にご連絡をいただければ  
と思います。

## 【連絡先】

一般社団法人 協同総合研究所  
〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-44-3  
池袋ISPタマビル7階

Tel:03-6907-8033 Fax:03-6907-8034

Mail:kyodoken@jicr.org 担当：荒井